

笹ヶ峠～平谷～下川上～大峯山～笹ヶ峠

A 「県道42号・大竹湯来線」の787m地点、笹ヶ峠を出発点とします。北麓の「小多田、南麓の「下川上」にはバス停がありますが、便数が少ないので、車利用の場合について紹介します。冬季は積雪のため通行止めになります。峠には「大峯山県自然環境保全地域」の大きな看板があり、また峠を東方面に少し下ったところに駐車場があります。峠から西に伸びる林道の途中に大峯山登山道の北口がありますが、今回は南口へ回るため県道を東へ進みます。

B 大きく南に曲がります。

C 畑や農家のある平谷地区に下ると、「平谷バス停」があります。ここから、素晴らしい大峯山の山容が楽しめます。

D 「内野分かれバス停」付近で、左からの中国自然歩道と合流しますが、そのままバス道を進みます。

E 「西の明バス停」でバス道と分かれ、右斜め方向に進みます。中国自然歩道の案内板に従って進みましょう。

F 「黒草街道」の説明板や、「中地バス停3.6km」の案内板で左に曲がり、そのまま直進します。道は、畑の端までたどり着くと、そのまま登山道に繋がります。

G 小さな谷を下っていくと、案内板があるので、「下川上」方面(右方向)へ鋭角に進みます。

H コル(鞍部)を越えて、道は下りになります。

I 林道と合流した谷が、「ゴロウ谷」です。大峯山へ、この道のないゴロウ谷を登るルートはベテラン向きです。今回は、「中地バス停0.6km」の案内板に従って、林道を下ります。

J 三差路に出て、左のバス道方面へ下ります。バス道との合流点に、中国自然歩道の大きい案内看板があります。この、看板のある三差路を右に曲がります。

K 下川上バス停まで進むと、駐車場や休憩所、トイレなどの施設がある大峯山登山口があります。ここから、別荘地の中の急な車道を登ります。

